

“あたりまえ”の生活を地下から支える

ながおかの下水道

編集:広報WG『縁の下のチカラボ』by 長岡市下水道課



ながおかの下水道事業、100年の歩みとこれから

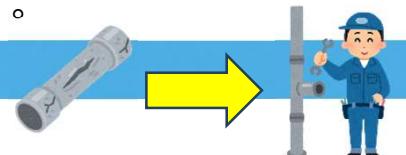
《下水道事業100年の歩み》

日ごろから長岡市の下水道事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。長岡市の下水道事業は大正13年(1924年)に始まり、令和6年(2024年)で100周年を迎えることができました。



《暮らしを支える下水道の今と課題》

長岡市は大正13年(1924年)に全国で7番目に上下水道事業に着手しました。その後、100年の間に戦争や地震など数々の困難を乗り越え、現在では下水道普及率が98.6%と県平均を上回っています。水洗化されて暮らしやすくなった一方で、老朽化した施設の維持管理が課題となっています。現在、長岡市が管理する下水道管の長さは約2,216kmで、これは北海道から沖縄までの距離に相当します。



《次の100年に向けて》

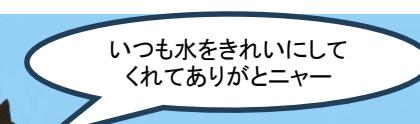
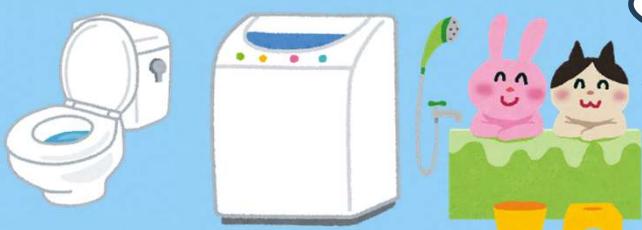
長岡市の安全・安心を守るために下水道施設の計画的な更新が欠かせません。「選ばれるまち長岡」を目指し“あたりまえ”的な生活を支えられるように下水道施設の維持管理と更新に取り組んでまいります。今後ともみなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

下水道博士の 下水どういがーて？(Q&A)



《下水道使用料はなにに使われているの？》

- 大きく分けて3つの用途に分類できるのじゃ。
- ①下水処理場の運転費・維持管理費
→博士「下水処理施設は24時間365日休まず水をきれいにしているのじゃ」
 - ②下水管の維持管理・清掃費
→博士「お皿を洗うときに油や食べ残しを流すと下水管の詰まりの原因となるのじゃ。
油は固めるかふき取って燃やすごみ、食べ残しは生ごみに分別じや」
 - ③下水道施設の建設・更新費用
→博士「“あたりまえ”的な生活を守るには下水道施設の計画的な建設と更新が必要じや
みんなの下水道使用料によって長岡市の下水道事業が支えられているのじゃよ！」



今回は、長岡市の下水道事業の現状とこれからについてお知らせしました。
次回Vol.6(令和8年3月更新予定)では令和8年7月に予定している下水道使用料金の改定についてお知らせします。